

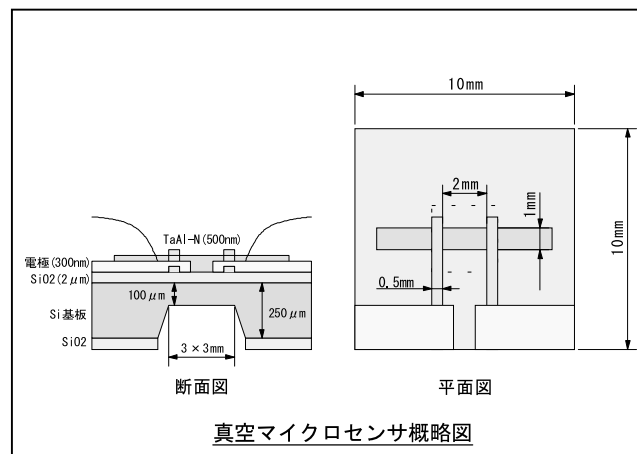
事例6 技術相談及び新技術・新製品の試作・開発の技術支援

現在、大阪府下の中小企業からの技術相談はワンストップサービスによる対応、現場での技術指導、ならびに新技術、新製品の試作・開発等は、大学、国公立試験・研究機関、企業に協力依頼し、共同研究等をコーディネートすることにより、それぞれの技術課題の解決に取り組んでいる。以下にそれらの事例を報告する。

〔事例A〕

〇社より熱伝導型マイクロ真空計開発の協力依頼

- ・ 大阪府立産技術総合研究所の〇主任研究員及び市大M教授の技術指導や試作協力により高感度真空度センサー用材料を開発し、特許を共同出願した。
 - ・ 資金調達のため、新技術開発財団の中小企業向けの研究開発補助金申請の指導を行い、認定された。
 - ・ 微細加工企業であるS社に協力依頼し、上記センサー材料を用いてマイクロセンサーを試作し、M教授の指導により真空計用制御回路を試作し、それらをアSEMBルすることにより、熱伝導型マイクロ真空計のプロトタイプの開発をコーディネートした。
- 試作したマイクロ真空センサの概略を右記に示してある。



〔事例B〕

M社より高反射Al合金リフレクターの試作に関する技術相談。

光学多層膜加工メーカーであるS社を紹介し、多層膜の材料及び加工条件を検討することにより、90%以上の高反射リフレクターの可能性が見出されたので、試作をして確認する予定である。

〔事例C〕

S社より、反射防止及び電磁シールド複合機能付眼鏡レンズの試作技術の開発、協力依頼。

真空コーティング装置メーカーのH社を紹介し、各種コーティング材料及び装置の加工条件を検討することにより、AR及び電磁シールド可能な眼鏡レンズが試作できた。

〔事例D〕

N社より小型応力センサー試作協力依頼

微小部分の応力測定をするためには、合金薄板の両面に同じ位置に精度よく、薄膜センサーの形成をする必要があるため、高精度薄膜圧力センサーメーカーであるN'社を紹介し、高精度マスクアライナーを活用することにより試作できた。